

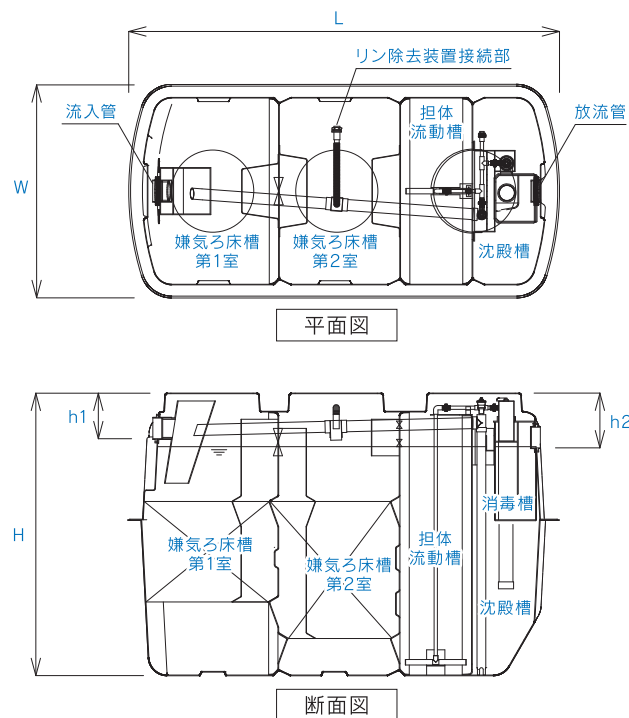
高度処理
タイプ

窒素・リン除去型浄化槽

XF型

嫌気ろ床担体流動循環方式にリン除去装置を加えた方式

■ 構造図 [浄化槽本体]



■ 仕様表 [浄化槽本体]

型 式	XF-5型	XF-7型	XF-10型
人 槽	5	7	10
型 式 認 定 番 号	8-23K-H-005	8-23K-H-005-1	8-23K-H-005-2
型 式 適 合 認 定 番 号	型01Caa0a0054583	型01Caa0a0074584	型01Caa0a0104585
外 槽 材 質	FRP		
有効容量 (m ³)	嫌気ろ床槽第1室	0.775	1.070
	嫌気ろ床槽第2室	0.739	1.049
	担 体 流 動 槽	0.457	0.627
	沈 殿 槽	0.352	0.420
	消 毒 槽	0.023	0.729
総 容 量	2.346	3.189	4.842
寸 法 (mm)	全 長 L ※1	2,330(2,890)	2,800(3,370)
	全 幅 W	1,140	1,700
	全 高 H ※2	1,550(1,580)	1,860(1,890)
	流 入 管 底 h 1 ※2	250(280)	300(330)
	放 流 管 底 h 2 ※2	300(330)	400(430)
	流 入 管 径	φ 100	
	放 流 管 径	φ 100	
	マ ン ホ ー ル	φ 450×3 φ 600×1	φ 450×1 φ 600×2
本 体 重 量 (kg) ※3	250	295	560
プ 方 式	電磁式		
電 源 (V)	AC100		
送 風 量 (L/分)	60	80	100
消 費 電 力 (W) ※4	41	57	101

■自然放流ができない場合は、放流ポンプ槽一一体型をご用意できます。

※1:()内は放流ポンプ槽一一体型の場合の寸法 ※2:()内はマンホール上端からの寸法

※3:担体、マンホールを含んだ目安重量 ※4:ブロウとリン除去装置の合算

PROTECT×CHANGE

Daiki
AXIS

窒素・リン除去型

浄化槽/XF型

5~10人



T-P
1mg/ℓ 以下



リン規制地域対応 環境配慮型浄化槽適合機種

窒素・リン除去型浄化槽

XF型
[5~10人槽]

家庭用浄化槽で唯一
PAC(ポリ塩化アルミニウム)で
リンを除去。

嫌気ろ床担体流動循環方式に
リン除去装置を加えた方式

BOD
10

COD
20

SS
10

T-N
10

T-P
1

建築基準法施行令第35条第1項の大臣認定品
全浄協登録品/FRP認定取得品(5、7人槽)

株式会社 ダイキアクシス

[https://daiki-axis.com/スタンダード市場\(コード:4245\)](https://daiki-axis.com/スタンダード市場(コード:4245))

【松山本社】〒791-8022 愛媛県松山市美沢一丁目9番1号
TEL 089-927-2222(代) FAX 089-927-3335

【東京本社】〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-15-4 PMO東日本橋8F
TEL 03-5823-3737(代) FAX 03-5821-3377



問い合わせ方法・各事業所の
最新情報は、こちらでご確認
いただけます。

当社製品(浄化槽など)に関するお問い合わせ先

お客様窓口 [生産統括部 品質管理課]

〒791-8022 愛媛県松山市美沢一丁目9番1号 FAX 089-927-1973

☎ 0120-171893 受付時間/9:00~17:00(土・日・祝日を除く)

⚠ 安全に関するご注意

当社製品の設置工事や使用方法、維持管理などについては、付属の要領書、説明書等に詳しく記載されています。これらをよくお読みのうえ、正しく設置や使用、管理を行ってください。

本カタログの記載内容に関する留意事項

改良のため、予告なく製品の仕様や形状、色などを変更する場合があります。ご了承ください。



株式会社ダイキアクスプラスチック製
浄化槽の品質マネジメントシステムは松山
本社および研究開発センター・松山工場・
津島工場・信州工場・福島工場において、
ISO9001の認証を受けています。

K-040B/2500
2024年11月作成



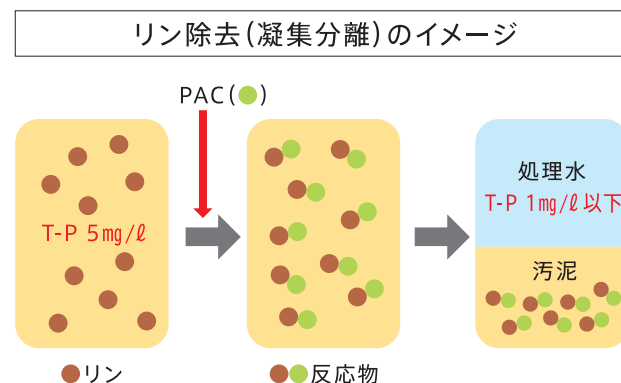
浄化槽は、ダイキアクシスへ。

家庭用浄化槽で初めて “凝集分離方式”でリンを除去！

PAC添加による凝集分離は、
浄水場や他の排水処理装置でも
広く採用されている確実な処理方式。

■凝集分離方式によるリン除去の仕組み

浄化槽にPAC（ポリ塩化アルミニウム）を注入すると、
PACと汚水中のリンが反応して、反応物のリン酸アルミ
ニウムが生成されます。この反応物を嫌気ろ床槽等で分離
することによって、汚水中からリンが除去されます。



XF型のリン除去は シンプルなシステム

リン除去装置内のPACタンクに貯留しているPACを、ポンプで浄化槽内
の硝化液循環兼汚泥移送管に移送します。

別体式のリン除去装置と浄化槽を付属の電線管
で接続し、PAC移送チューブを通します。

リン除去装置

- 幅575mm
- 奥行485mm
- 高さ905mm

内部にはポンプ、タイマ、PACタンク等を内蔵して
います。外装は安全面に配慮して、付属の南京錠
で鍵がかけられるシャッター仕様（右写真参照）と
なっています。

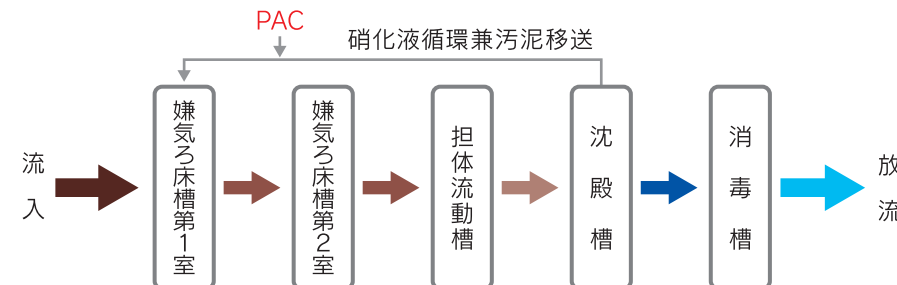


設置例



■フローシート

処理方式：嫌気ろ床担体流動循環方式にリン除去装置を加えた方式



■特長

実績のある高度処理型浄化槽をベースに開発

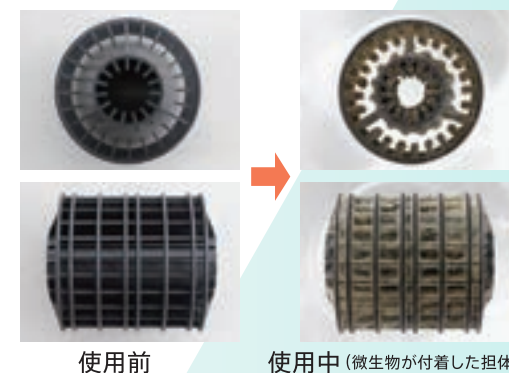
処理能力“トリプル10”を実現

当社の高度処理型浄化槽XC型で実現したBOD10mg/ℓ以下、T-N10mg/ℓ以下、SS10mg/ℓ以下に処理する“トリプル10”の
ノウハウをXF型にも継承しました。

高性能な担体を採用

オリジナル担体

担体流動槽には、当社が独自開発し、他の
自社浄化槽にも採用している高性能なオリジ
ナル担体を使っています。形状を工夫した
うえ（二重の円筒）、サイズもφ60×H70mmと
ビッグサイズで、生物付着量が多いため、高い
浄化能力を持っています。



使用前

使用中（微生物が付着した担体）

優れた施工性

槽本体はコンパクト仕様で、全高も低いので施工性が良好

施工性を上げるため、槽本体をコンパクトに設計しました。全高（マンホール枠込）を5、7人槽が
1,580mm、10人槽が1,890mmと低く設定しているので、施工性に優れ掘削土量が少なく済みます。
ブロワも一口仕様なので取り付けが簡単です。

メンテナンス性の高いシンプル構造

浄化槽本体もリン除去装置も維持管理が容易

浄化槽本体もリン除去装置もシンプルな構造なので、メンテナンスが簡単です。
リン除去装置については浄化槽の保守点検時にPACが適正量注入されているか確認（必要に応じて
注入量を調整）し、PACタンクへの補充を行います。

保守点検／清掃頻度

保守点検頻度：4ヶ月に1回以上

※リン除去装置も同頻度で実施

清掃頻度：1年に1回

安価なランニングコスト

リン除去に関わる費用は、電気代と補充用の薬品（PAC）代だけですので、
ランニングコストが安価です。

浄化槽本体とリン除去装置の接続について

リン除去装置のセッティング部品は、浄化槽にオールインワンで付属

リン除去装置と浄化槽本体との接続に必要な部品類は、専用キットとして浄化槽に付属しています。